

別記第1号様式（第6条関係）

倫理審査申請書

2024年 7月 1日提出

伊勢赤十字病院
倫理委員会倫理委員長 殿

申請者 大西 孝宏 
所属 教育研修推進室
職名 医科プログラム責任者

受付番号 ER2024-46 (※事務局で記入)

所属長の印 

1 審査対象 ① 実施計画 2) 出版・公表予定原稿
2 課題名 「臨床研修病院についてのアンケート ～救急隊員からの評価～」
3 主任医療行為者名 氏名：大西 孝宏 所属：教育研修推進室 医科プログラム責任者 職名：腎臓内科／リウマチ・膠原病内科部長
4 分担医療行為者名 1) 氏名：大森教成 所属：教育研修推進室 医科副プログラム責任者 職名：救急部部長 2) 氏名：宮崎伊佐夫 所属：救急部 職名：救急救命士 3) 氏名：森谷有美子 所属：総務課（兼）教育研修推進室 職名：主事 4) 氏名：小林美香子 所属：看護部（兼）教育研修推進室 職名：看護係長
5 医療行為等の概要 救急外来での研修医の対応について救急隊員から評価を得るためにアンケート調査を実施し、研修医教育の改善に活かす。

6 医療行為等の対象及び実施場所

1) 調査のデザイン

アンケート調査

2) データ収集期間

2024年8月 100件程度収集できるまで

3) 対象者

当院救急外来への救急患者搬送に従事した救急隊員

4) データ収集方法

(1) 調査用紙は独自に作成する。

研修医の態度について7つの質問を設定し、そう思う～そう思わないの5段階評価とする。加えて、研修医教育について自由記載を求める。

(2) 調査用紙の配付方法：

救急部 救急救命士が、救急隊員から搬送用紙を受け取った際にアンケート用紙を渡す。1人の救急隊員に対し、1日1枚の配付とする。

(3) 回収方法：当日中に救急外来事務室内に設置した回収袋へ投函

(4) 評価対象がその日に対応した研修医のため、同一の救急隊員に対し、協力依頼をすることもある。

5) データ分析方法

単純集計

6) 倫理的配慮

(1) 伊勢赤十字病院倫理委員会へ申請し承認を得る。

(2) 調査用紙は無記名式とし、回収袋を救急部事務室内

(3) 調査参加の自由と撤回については、調査の協力に同意したことを示す項目を調査用紙に記載する。また、回答中に調査協力への意向をいつでも撤回できることを記載する。

注意事項 審査対象となる実施計画書又は出版公表原稿のコピーを添付して下さい。

~~審査対象欄は、非該当部分を消して下さい。~~

別記第1号様式（第6条関係）

倫理審査申請書

2024年 7月 1日提出

伊勢赤十字病院

倫理委員会倫理委員長 殿

申請者 大西 孝宏



所属 教育研修推進室

職名 医科プログラム責任者

受付番号 FR2024-47 (※事務局で記入)

所属長の印



1 審査対象
① 実施計画
2) 出版・公表予定原稿
2 課題名
「臨床研修病院についてのアンケート（外来患者対象）」
3 主任医療行為者名
氏名：大西 孝宏 所属：教育研修推進室 医科プログラム責任者
職名：腎臓内科／リウマチ・膠原病内科部長
4 分担医療行為者名
1) 氏名：大森教成 所属：教育研修推進室 医科副プログラム責任者
職名：救急部部长
2) 氏名：森谷有美子 所属：総務課（兼）教育研修推進室 職名：主事
3) 氏名：小林美香子 所属：看護部（兼）教育研修推進室 職名：看護係長
5 医療行為等の概要
一般外来研修での研修医の対応について外来患者から評価を得るためにアンケート調査を実施し、研修医教育の改善に活かす。
6 医療行為等の対象及び実施場所
1) 調査のデザイン
アンケート調査
2) データ収集期間
2024年8月～10月頃（50例程度収集できるまで）

3) 対象者

当院外来（総合内科・外科・小児科）を受診し、研修医が診療に関わった患者

4) データ収集方法

(1) 調査用紙は独自に作成する。

①当院が臨床研修病院であることの認識の有無

②研修医が外来診療を担当することの認識の有無

③研修医の態度について4つの質問を設定し、良い・普通・悪い～の3段階評価とする。加えて、研修医教育について自由記載を求める。

(2) 調査用紙の配付方法：

診察終了後、各外来診察室を担当する看護師から封筒に入れたアンケート用紙を患者に渡す。

(3) 回収方法：患者は外来受診をした当日中に、封筒に入れた回答済みのアンケート用紙を看護師に渡す。

5) データ分析方法

単純集計

6) 倫理的配慮

(1) 伊勢赤十字病院倫理委員会へ申請し承認を得る。

(2) 調査用紙は無記名式とし、回答済みのアンケート用紙は封筒に入れ提出できるようにする。

(3) 調査参加の自由と撤回については、調査の協力に同意したことを示す項目を調査用紙に記載する。

注意事項 審査対象となる実施計画書又は出版公表原稿のコピーを添付して下さい。

~~審査対象欄は、非該当部分を消して下さい。~~

7 医療行為における医学倫理的配慮について（I～Vは必ず記載のこと）

I 医療行為の対象となる個人の人権の擁護

- (1) 調査への協力依頼は、外来診察後に各外来診察室を担当する看護師が行う。
- (2) 調査用紙は無記名式とし、回答済みのアンケート用紙は封筒に入れ、提出できるようにする。
- (3) 調査に協力しない場合でも不利益を受けないことを調査用紙に記載する。
- (4) 調査参加の自由と撤回については、調査の協力を同意したことを示す項目を調査用紙に記載する。

II 医療行為の対象となる者に理解を求め同意を得る方法

① オプトアウト¹

② 書面による同意

③ その他（ ）

III 医療行為により生じる個人への不利益並びに危険性

なし

IV 予測される医学上の貢献

臨床研修（研修医教育）について、地域（外来患者）から積極的に意見を受入れることにより、結果を研修医教育の改善に活かすことができる。

V その他（研究期間、症例数等）

1. 研究期間：2024年8月～10月頃 50件程度収集できるまで
2. 症例数等：なし
3. 当院ホームページに公開

VI 参考資料

1. NPO 法人 卒後臨床研修評価機構 評価の趣旨 — October2023—、2023年.
2. 新潟県厚生農業協同組合連合会 上越総合病院ホームページ
<https://joetsu-hp.ent/blog/detail?id=2255>、2024/06/10 閲覧.

¹ 患者への侵襲がなく、個人が特定されることのない方法で実施される研究については、病院 HP 上で研究名を公開し、研究への不参加の意思を病院あてに通知する窓口が整備されていることをもって、患者から同意を得たこととする制度

別記第1号様式(第6条関係)

倫理審査申請書

R6年7月1日提出

伊勢赤十字病院

倫理委員会倫理委員長 殿

申請者 杉本真也
所属 消化器
職名 医師



受付番号 EP2024-48 (※事務局で記入)

所属長の印



1 審査対象	*何れかに○を付けてください。
<input checked="" type="radio"/> 1) 実施計画	
2) 出版・公表予定原稿	(発表予定日: 年 月 日)
2 課題名	*未定の場合も「～(仮)」として記載ください。
胃ESD後潰瘍閉鎖の支効果	
3 主任医療行為者名	
氏名: 杉本真也	所属: 消化器 職名: 医師
4 分担医療行為者名	
氏名: 消化器内科医	所属: 職名:
5 医療行為等の概要	*研究の内容についてご記載ください。
2012.1.1～2024.3.31の胃ESDデータを より向きに解析し、胃ESD後潰瘍閉鎖の 後出血予防支効果を検証する。	
6 医療行為等の対象及び実施場所	*研究対象者・データ等についてご記載ください。
内視鏡室	

注意事項 審査対象となる実施計画書又は出版公表原稿のコピーを添付して下さい。

審査対象欄は、非該当部分を消して下さい。

7 医療行為における医学倫理的配慮について（I～VIVは必ず記載のこと）

I 医療行為の対象となる個人の人権の擁護

ヘルプを研究です。

II 医療行為の対象となる者に理解を求め同意を得る方法

※いずれかを○で囲んでください。

オプトアウト¹

書面による同意

*同意書のひな型を添付ください。

その他（ ）

III 医療行為により生じる個人への不利益並びに危険性

特になし

IV 予測される医学上の貢献

閉鎖が後出血予防の意味を明らかにする
明らかになる。

V その他（研究期間、症例数等） *未定の場合は見込みを記入すること

研究期間： 2012.1.1-2024.3.31

症例数等： 約350例

¹ 患者への侵襲がなく、個人が特定されることのない方法で実施される研究については、病院HP上で研究名を公知し、研究への不参加の意思を病院あてに通知する窓口が整備されていることをもって、患者から同意を得たこととする制度